

陳 情 文 書 表

(消防局)

受 理 番 号	1 3 0	受 理 年 月 日	令 和 3 年 2 月 18 日
件 名	北消防署建設に係る周辺住民への配慮		
要 旨	<p>本来、法的には公園の中に消防署を建設することができないため、京都市は、公園はむやみに削減してはならないという公園法に違反して公園の一角を用途変更することで削減し、公園と消防署を一体化するという建設計画を進めてきた。</p> <p>そして、間近に開署を迎えようとしているが、次のような問題点を残したままとなっている。</p> <p>第1に公園の周辺は静かな住宅街である。昼夜を問わないサイレン音は健康被害やストレスの増加を招くことも予想され、そのことを理由に転居を余儀なくされている住民も現れている。公園の主たる目的である利用者の休息も阻害されかねない。</p> <p>第2に前面の道路幅は狭く、緊急車両の出入りには無理があるうえ、近くにスーパーマーケットがあり、渋滞を免れず、多くの住民が緊急対応に支障が出ることを指摘してきた。</p> <p>第3に公園の入園者と緊急車両及び一般車両の出入口が隣合せとなっており、交通事故の心配がある。</p> <p>このように公園と一体化する消防署建設には問題があり、建設場所として適していないことは明らかではないか。将来的に再度、消防署を移転することを検討することが根本的な解決と考えている。</p> <p>2017年7月、北消防署の大宮交通公園への移転計画中止を求める署名1,527筆、最終的には1,776筆を提出しているが、今回、上記の問題解決のため、公園周囲の間近に住む市民の切実な声を集めた要望署名56筆を添えて、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 現北消防署を残し、機能を存続させ、新北消防署からの緊急車両の出動回数を減らし、サイレン音の回数を少なくすることで、北区のより一層の消防力強化を図ること。さらに、希望する住民に対し、防音設備を設置する際の支援を行うこと。また、京都市としてサイレン音の解決策を提示すること。</li> <li>2 消防署建設に適しているか検証をし、速やかに消防署をふさわしい場所へ移動させるよう検討すること。</li> <li>3 残された様々な不安払拭のため、近隣住民への説明会を開署までに行うこと。</li> </ol>		
陳 情 者			
回 付 委 員 会	総 務 消 防 委 員 会		